



にじいろ通信

Rainbow color communication

一人はみんなのために みんなは一人のために



朝日の霧島連山

CONTENTS

- P2 院長 挨拶
- P3 研修医紹介
- P4・P5 対談シリーズ「当院の救急医療の現状」
- P6 部門紹介～2 東病棟～
職員紹介～食養・栄養管理士～宮原あけみ
- P7 地域の医療機関より（鵜木医院）
- P8 当院の内科紹介患者の受け入れに関してのお願い



国分生協病院



国分生協病院 院長
山下 義仁

新年明けましておめでとうございます。かねてより多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。昨年は診療報酬改定と地域医療構想の論議で、様々な対応を迫られた 1 年でした。私たちの病院ではこれらの内容を職員間で共有し、診療報酬改定に対応するとともに、地域医療構想の問題点等を学習しました。また、霧島市の議員さん約 6 ~ 7 名と地域医療構想の内容を懇談する場を持ち、今後の地元の医療供給体制が大きく変化する可能性やこの変化に住民の意見や要望を反映させることの重要性を伝えてきました。

さてこのような状況の下、私たちの病院にも変化が求められています。今まで以上に地域の先生方との連携を深め、地域完結型の医療を進めていきたいと思います。その一つは、地域包括ケア病棟を導入し、在宅医療をされている先生方や施設との連携を深めていきたいと考えています。現在の医療養病床 1 の 39 床を今年 5 月から転換する予定です。今後の連携についてご相談にお伺いすることも考えていますので、よろしくお願ひ致します。

二つ目は、新病院を 11 月にオープンします。診療科や病床数は変わらないのですが、機能やアメニティの向上を図りたいと思います。透析室を現在の 32 床から 40 床に拡大します。その後も順次増床していく予定です。外来にがん化学療法室を設けます。4 床だけですが主に消化器系や呼吸器系の癌を対象にする予定です。リハビリ室を拡大します。脳血管リハにも対応できるようにしますし、各病棟にも小さいながらリハビリ室を設置します。MRI を導入します。1.5 テスラですが、脳血管疾患や肝胆膵疾患等の診断の質を上げていきたいと考えています。病室は 4 痘室を基本とし、個室を増やします。これまでより落ち着いた療養環境を提供できると思います。

この霧島姶良地域において地域完結型の医療を皆さんとともに担っていきたいと思います。本年もよろしくお願ひ致します。

地域を守る医師を目指します

研修を終えて



山 口 貢 正

1. 出身地と研修医〇年目

長崎県長崎市 研修医 2年目

2. 国分での研修内容について

地域研修にきました。仕事場や生活環境が目に浮かぶ患者さん達について、どのように環境調整や生活指導を行えば効果的なのか、顧みる期間となりました。

3. 研修中大変だったことについて

「専門家がない科があること！」です。同地域の医師との関係を非常に大事にする姿勢を見習わなければならないと思いました。

4. 研修中に印象に残っているエピソード

初当直が終わりヘロヘロになっているところで「今日は落ち着いた夜だったね」とコメントを頂いたことです。私としては、とても忙しかったと感じたので、今でも忘れられません。

5. 国分での研修を終えての感想

各部署がちょうどよい大きさで、top-down の意思統一がとれており仕事がしやすかったと感じています。また、各職種の仕事に対する自負や責任感を強く感じました。各部門から提案があることがとても頼もしく、また言ってくださるありがとうございました。国分生協病院が長年培ってきた文化なのだと感じ、自分も、相手が忌憚なく意見が言える、言ってもらえるような雰囲気を纏いたいと思いました。

ご指導頂き、ありがとうございました。



川 上 翔 平

1. 出身地と研修医〇年目

鹿児島県鹿児島市 研修医 2年目

2. 国分での研修内容について

研修科ローテーションの中で、地域医療、腎臓・透析といった分野を目的に研修させていただきました。

3. 研修中大変だったことについて

私が夜間当直の担当をする日には、救急車が連続で搬入され、すごく忙しくなることが多かったです。おかげで度胸がついた気がします。

4. 研修中に印象に残っているエピソード

大盛り上がりとなった医局の歓迎会です。

5. 国分での研修を終えての感想

実は研修医 1年目の 5月～7月にも導入期研修としてお世話になりました。右も左もわからない時期に、国分生協病院で多くのスタッフのみなさんに丁寧に育てていただいた印象が強く、またやってきました。約 1年間いろいろな科をローテーションしてきた後なので、多少自信がついてしまったのか、こちらに再度赴任したばかりの頃に『『先生、らしくなったね！』』と言われました。

入院される患者さんも、外来を受診される患者さんも、往診の患者さんも、この病院はスタッフ一丸となって対応する姿が素敵でした。短い期間でしたが、その輪の中に入ってみなさんと協力しながら働けてよかったです。

本当にお世話になりました。

— Introduction —

対談シ

当院の救現

外来看護師
副主任

林 由美

様々な学習会を開催し
チーム医療の向上を目指します。



【当院の特徴】

大久保：当院では、内科を中心とした救急医療活動を行っています。

夜間は当直の医師が小児科対応、外科縫合なども行います。昨年度の救急搬入件数は1000件を超えた。 (内科:969件 小児科:118件)

霧島地域の救急輪番制度、CCUネットワークにも参加しています。緊急透析も行うこともできます。できるだけ患者さんをお断りしないよう心がけています。しかし、緊急外科手術に対応できず、整形外科疾患は応急処置しかできない点は課題です。

重症患者、心肺停止症例については院内で召集をかけチーム医療にあたっています。

林：夜間はウォークイン対応、救急搬入対応を外来スタッフ1名、医師1名で対応しています。その中で受診の背景から生活困難者や中断患者などを把握し生活支援や治療継続できるよう地域連携へ繋げています。



地域での班会活動の写真

【院内の活動】

林：スタッフの技術向上、心肺停止症例のふりかえりのため、各部署から9名が集まって毎月ACLS委員会を開催しています。委員会スタッフを中心に、BLS普及と技術向上維持を目的としたBLS講習会を年3回開催しており、心停止の早期の認識、早期に救急要請し、その後胸骨圧迫に重点をおいた迅速なCPR、AEDの迅速な使用、効果的で高度な治療、統合された蘇生後のケアという一連の流れを学習し、

リーズ 急医療の 状と課題

内科
外来医長

大久保千香子

地域の救命率向上のために
各医療機関、消防と連携を深めて
いきたいです。



突然の緊急時の対応とチーム蘇生の重要性を学ぶ為に
2009年から院内ACLS講習会を行っています。救命現場で全体を把握し個々の役割を發揮できるよう今度も
継続していきたいです。

大久保：心肺停止事例については医師、看護師の双方
の目線から初期対応、治療の検証を行っています。チ
ーム医療として不足していた点、高められる点を見つ
けられ、着実に次に繋げていくことができます。



院内 A C L S 委員会

【今後の目標】

大久保：2015年度には地域の整形外科医から整形外科
疾患の応急処置の学習会をして頂きました。当院にな
い診療科目でも積極的に学習していきたいと思います。



院内 A C L S 講習会

林：地域への予防活動としては、組合員さんとの班会
を開催し疾患の学習会や一次救命処置についての指導
を行っております。今年度は健康祭りや班会に参加し、
手ごたえを感じました。残念ながら心肺停止となつた
方を少しでも地域の救命率向上に貢献できるよう活動
を継続していきたいと思います。

地域の救命率向上には普及活動とともに地域の各医療
機関、消防と今度の症例のために連携を深めていきた
いです。

大久保：来年には病院の新築移転を控えています。救
急室の拡張、MRI導入が決まっており外来も病棟も救
急医療の幅が広がるよう邁進していきます。



部門紹介

～2 東病棟～

当病棟は、50床の内科・小児科の混合病棟で、職員数は39名（パートを含む）と院内で一番スタッフが多く、平均年齢も20代で明るく元気な部署です。

主に糖尿病・腎（透析導入）・呼吸器・循環器等の急性期から亜急性期の患者さんが入院されており、多職種と連携しながら在宅復帰に向けた準備、相談を行い、その人らしさを支えるためにチームでのアプローチを行っています。

また、糖尿病・腎疾患では、糖尿病コントロール・透析導入など、教育目的の患者さんが多く、教育プログラムに沿って正しく理解し、実践できるように個別指導を行っています。

月平均85名前後の患者が入院され内科では、要介護比率も80%を超える、日常生活全般にわたって一部介助～全介助を要する患者さんも増えています。そのためリハビリと連携し、入院3日以内にラウンドを行い、早期にリハビリ介入を行うことでADL低下させない取り組みも行っています。

小児科病棟では、子供たちとその家族が安心して入院・治療できるように、環境調整やコミュニケーションを図ることで不安の軽減に努めています。また、小児グループを中心に定期的にカンファレンスや学習会を行い、力量を高めています。

365日24時間患者のニーズに沿ったきめ細やかな看護を提供するためにプライマリー制度に力を入れており、スタッフ同志が支えあう風土を大切にしています。そして、患者、家族が安心して療養できる場を提供し、患者さんの笑顔が見られるよう日々奮闘しています。



職員紹介



管理栄養士 宮原あけみ

《栄養士の仕事とは》

国分生協病院の栄養部門は、食養部という名称で、栄養士、調理師17名のチームで構成されています。栄養サポートチーム専門療法士、糖尿病療養指導士、病院専門調理師の資格を持つ職員とともに当院の栄養管理を担っています。

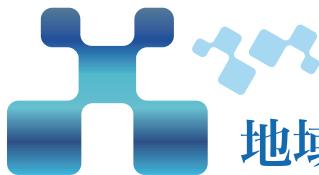
鹿児島医療生協へ入職し、クリニック勤務を経て病院を経験しました。その中で地域の方々への健康教室や入院中の患者への栄養管理業務を経験し、改めて栄養士という仕事の幅の広さを感じています。健康志向が高まる昨今、私たち栄養士は様々な情報を選び分け、学び、専門家として正しい情報を発信しなければならないと思います。そして病院で提供している食事は治療や病気予防のお手本と考えています。現在の医療では、栄養と治療は切り離せません。もちろん急性期や慢性期の栄養管理には違いがありますが、人の体の治癒力を引き出すのは栄養だと信じています。

また、部門の責任者として、今後次世代を担う栄養士、調理師に自分の力を十分発揮できる環境を調べていくことを自分の使命と思っています。

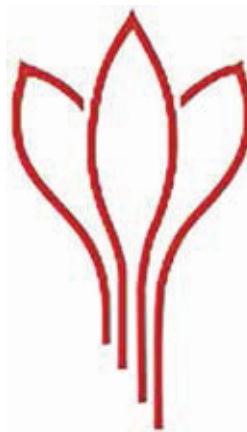
《今後の目標》

地域の栄養士と連携して急性期から在宅、施設への一貫した栄養管理を目指すプロジェクトに参加しています。当院だけでは完結できない課題が地域と連携することで解決できるように皆様の力になりたいと思っています。

<プロフィール>
1984年 鹿児島県立短期大学卒業
鹿児島生協病院入職
(旧市民病院)
1986年 鴨池生協クリニック 赴任
1989年 管理栄養士資格取得
1990年 国分生協病院 赴任
2013年 栄養サポートチーム専門療法士取得
<認定>
日本静脈栄養学会 栄養サポートチーム専門療法士
<所属>
日本静脈栄養学会



地域の医療機関より ～鵜木医院～



『国分生協病院の有難さ』

国分生協病院の先生方、看護婦さん、スタッフの皆様には、義父故鵜木春海先生の頃から2代にわたりまして、大変お世話になっております。

近くにて診療所を営んでおります、鵜木医院の加倉秀章と申します。

当院は15歳未満の小児が3分の1を占める、内科・小児科の有床診療所です。

高齢者の介護、在宅看取りと同様、安心して子供を産み・育てる街づくりも大切と考え、外来・入院・訪問診療、園医・学校医、産業医、警察協力医等、地域活動を担っています。

そのような日々の中で、感じている、『国分生協病院の有難さ』について、お話し致します。

①救急患者さんへの対応

小児の肺炎や、急性心筋梗塞、急性腹症など、一刻を争う疾患において、昼夜を問わず、常に迅速に対応してくださり、患者さんはもとより、私共にとっても、大変心強い存在です。

②在宅療養支援の連携

様々な社会背景を持つ在宅療養中の患者さんについて、情報交換をし、専門的医療に触れる機会にもなり、勉強になります。

③専門医療

例えば、基礎疾患を持ちながら、腎不全を起こし、透析が必要になった場合、霧島市にて対応できるのは、生協病院しかありません。鹿児島市へ行かずとも、専門治療ができることを、患者さんは喜んでおられますし、私共も感謝しております。

以上、私が感じております、『国分生協の有難さ』について、述べました。

今後も、より一層、深いお付き合いの程、宜しくお願い申し上げます。

鵜木医院 院長 加倉 秀章

～当院との連携において～

鵜木医院は、当院から直近の医療機関で春海先生の時代から大変お世話になっております。加倉先生は朝早くから夜遅くまでかかりつけの患者さんのお世話をされており、当院の医師にとっても臨床医の鏡とさせていただいております。

今後も大事なパートナーとして、よろしくお願いします。

地域連携担当医 内科 吉見 謙一



当院の内科紹介患者の受け入れに関するお願い

国分生協病院 院長 山下義仁

先生方からの当院内科外来への御紹介に関して、スムーズな受け入れのために、以下の予約による御紹介をお願いしたいと考えております。予約可能な方は、下記の専門外来に電話予約をお願い出来れば幸いです。

内科外来体制表 国分生協病院

午 前	専門 外来 (8:45 ~ 11:00)	月	火	水	木	金	土
		循環器	吉見	柴田	吉見	吉見	※吉見(不定期)
	呼吸器			樺田祐	佃屋		
	消化器・肝臓				松本	小坂元	松本
	腎・膠原病	前村	上村(再診のみ)		上村(再診のみ)	上村(初診・隔週)	※上村(不定期)
	神経内科				田代		

※学会出張等の都合により変更になる場合があります。詳しくは電話にてご確認ください。



※緊急紹介、入院が必要な方の紹介に関しては、上記体制に限らないので、お電話をお願いします。

※予約がない場合は一般内科外来担当医で対応させて頂きます。

※上記体制表の中の※は、不定期となります。お電話で確認をお願いします。

※上記以外の、通常の一般外来は12時まで受付を行っています。

※当院に受診歴のない患者に関しては、保険情報のFAXをお願いする場合がありますので、ご協力を
お願いします。

※不明な点があれば、お電話をお願い致します。

予約・問い合わせ番号 **0995-45-4806**



バス路線案内

(最寄のバス停はいずれも生協病院前)

・福山・垂水方面からお越しになる場合

国分駅行き（いわさきバス）、国分駅行き・鹿児島空港行き（鹿児島交通）のバスに乗車

・国分駅・空港方面からお越しになる場合

萩之元行き・上ノ原遺跡行き（いわさきバス）、垂水行き・鹿屋東笠之原行き（鹿児島交通）のバスに乗車

※国分ふれあいバスも生協病院前バス停で停車します。

国分生協病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目22-18
電話(0995)45-4806 FAX(0995)45-4938
<http://kokubu-seikyo.jp/>